

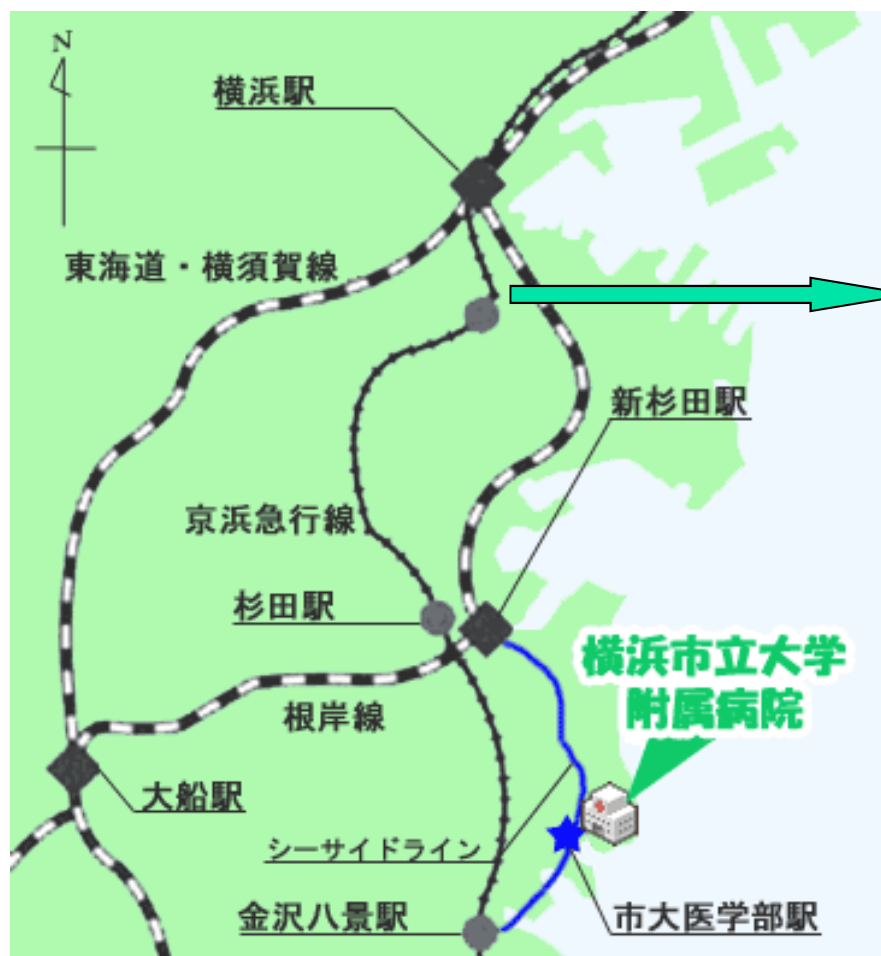
平成30年1月10日 医療介護福祉政策研究フォーラム
新春座談会



地域医療構想と地域包括ケア ～大学病院の立場から

横浜市大附属市民総合医療センター 病院長
麻酔科学教授
後藤 隆久

横浜市立大学附属2病院



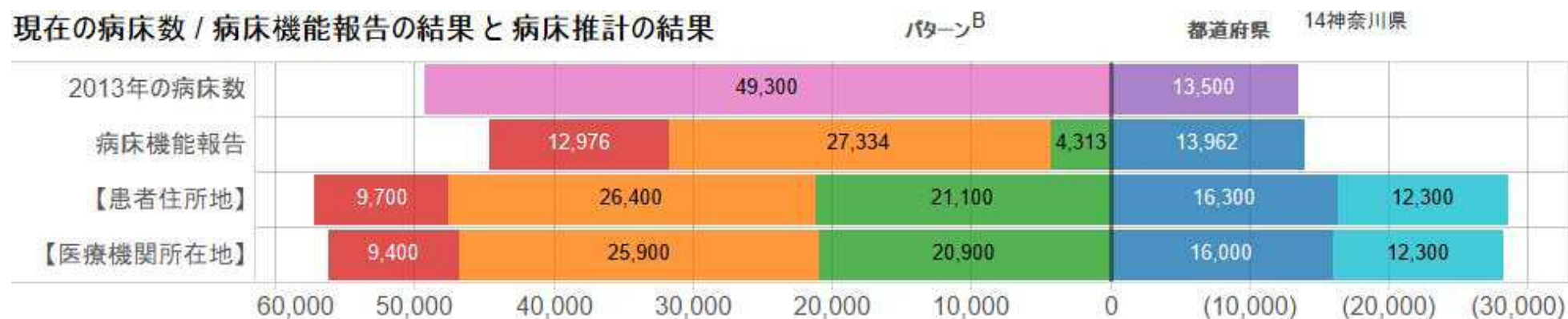
市民総合医療
センター
(726床
DPC II群)



附属病院
(特定機能
674床)

2025年、神奈川県は急性期病床 必要数が減り、回復期は大幅不足

現在の病床数 / 病床機能報告の結果と病床推計の結果

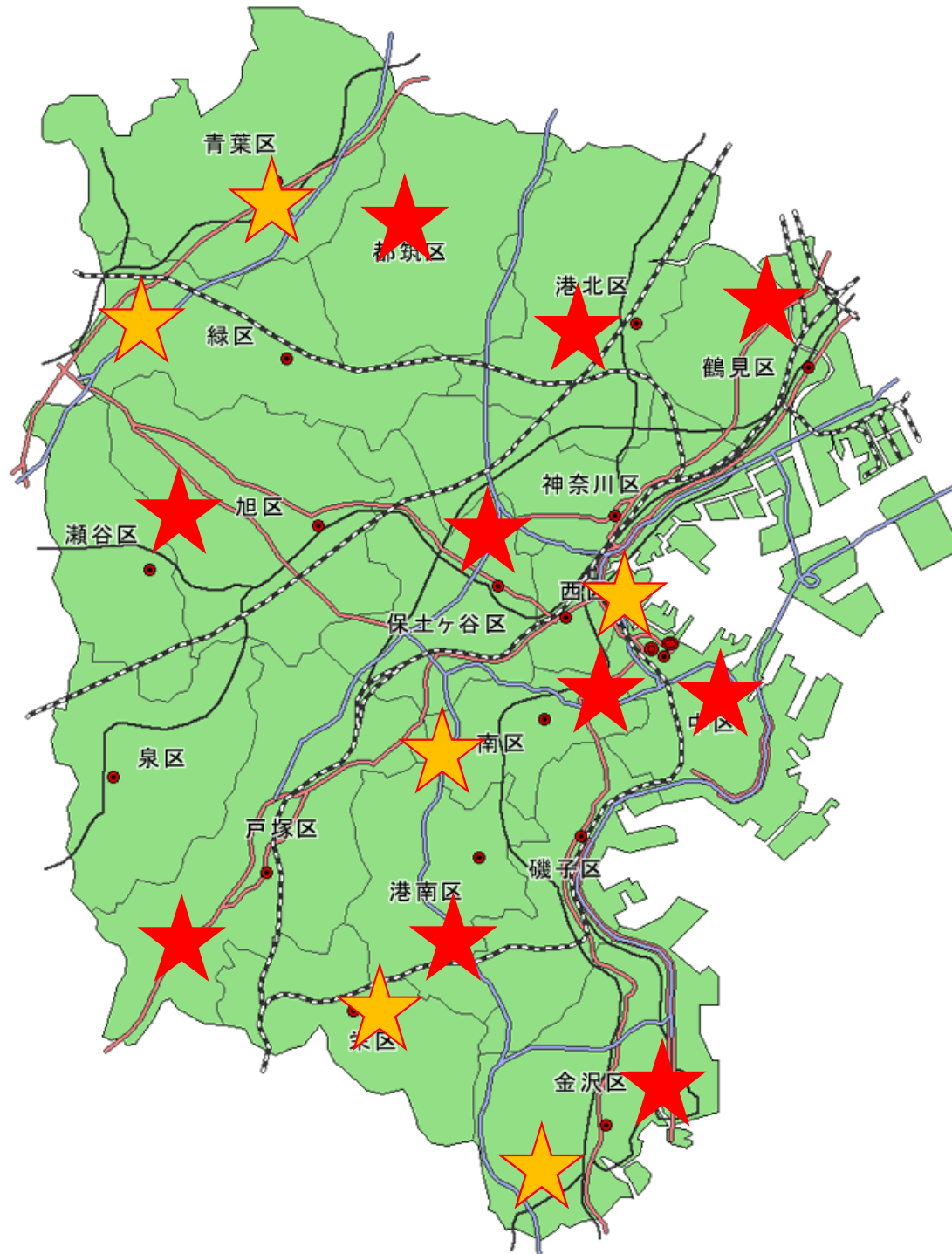


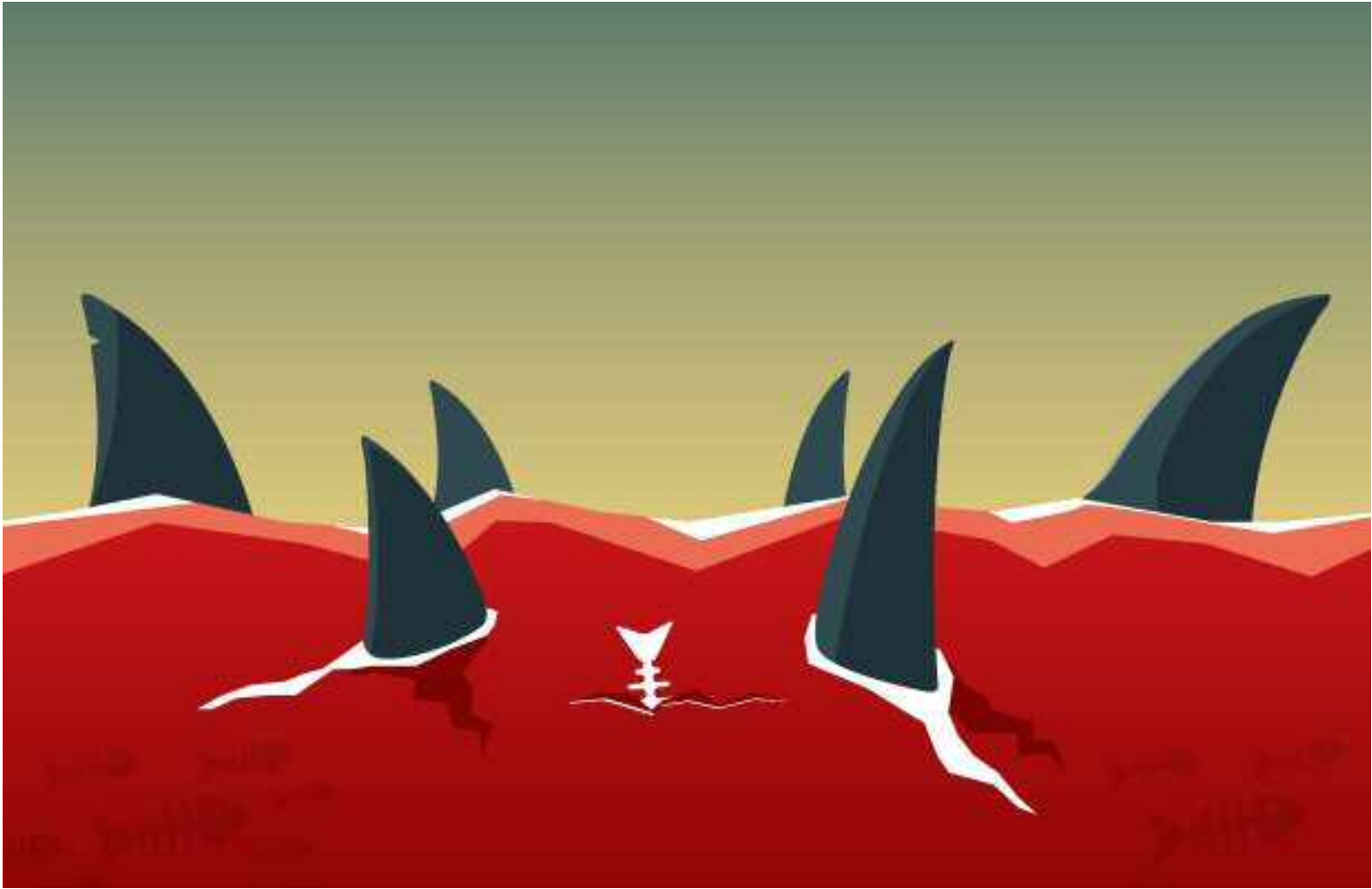
出典: 第5回医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会(2015/6/15)

資料1 必要病床数等の推計結果について(松田委員提出資料) http://www.kantei.go.jp/jp/singi/shakaihoshoukaikaku/chousakai_dai5/siryou.html

<https://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>

400床以上の 急性期病院





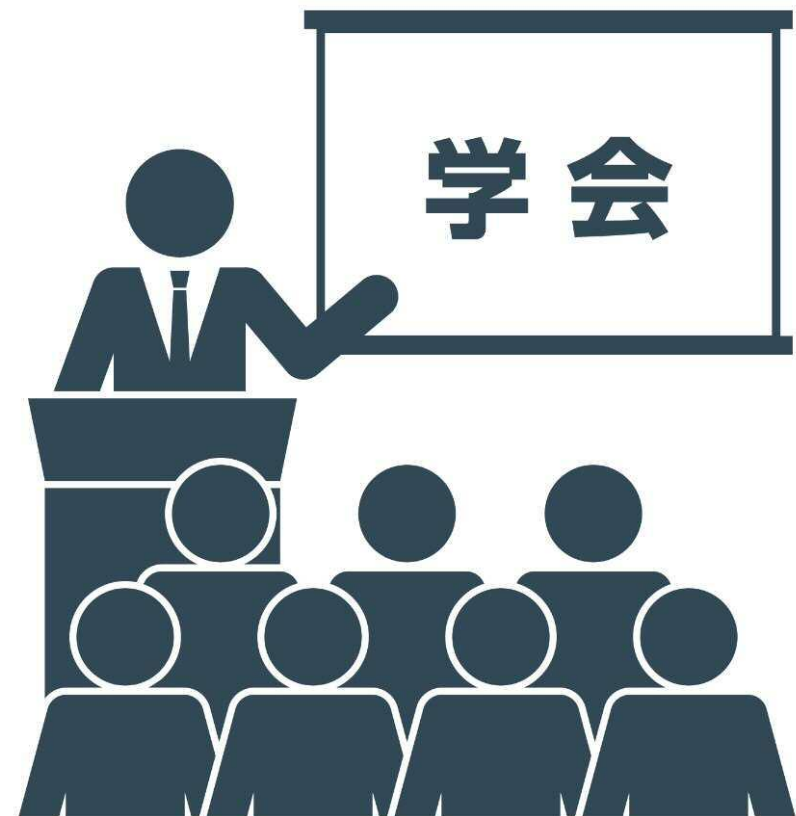
何故、大学病院は急性期病院なのか？

- 何故、大学病院の医師は(安月給に耐えて)大学にいるのか？



Peerの間で認められたい

- 研究業績
- 診療成績
- 困難な症例に対する
専門性



教授のインセンティブは





大学病院の病床転換は可能か？

- 大学病院は急性期（医療資源投入の多い医療）が中心
 - 医師（教員）のインセンティブ
 - 大学病院的な、手厚い人員配置で回復期・慢性期病床の経営が成立するのか？

【課題】 高齢化とともに急速に変化する医療環境に大学病院を適応させ、複雑な都市の医療システム構築に貢献できる経営人材が必要

対象者： 毎年5～13名/年

大学病院長候補者、病院長を補佐する医師・医療従事者、看護管理職候補者、事務管理職候補者、自治体関係者など

教育プログラムの育成人材像： 大学病院長・幹部候補となる要件として機能、変革人材の輩出

- ① 超高齢化時代に対応する日本の医療政策、および各自治体の実態を理解している。
- ② 高度急性期医療を使命とする大学病院が今後取るべき戦略や経営管理の方法について理解している。
- ③ 複雑な都市環境における医療・介護・福祉の担い手と連携しながら病院経営を実行・助言できる。

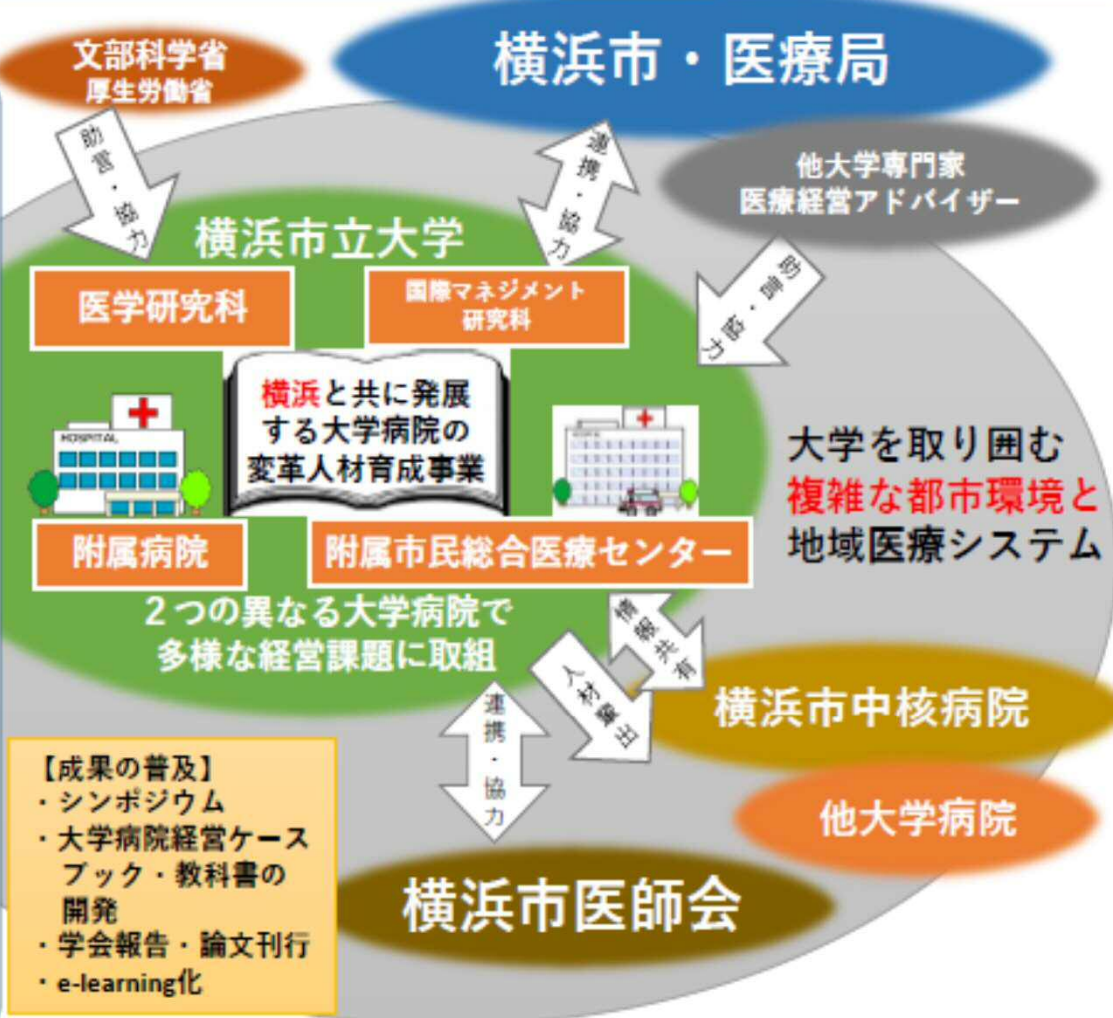
【5年後の姿】

- ・ 大学病院長・幹部候補者を10名以上育成
- ・ 病院経営人材輩出

横浜型育成モデルの他地域への普及

【教育プログラムの概要】（履修証明プログラム）

	講義名	内容
必修科目	医療政策学 (15h)	・ 地域医療構想等の医療政策 ・ 地域包括ケアシステム等の医療介護政策 ・ 横浜市における医療政策 →①に対応
	医療経営学 (15h)	・ 医療経営のポイント、病院経営の理論と実際 ・ DPC及び原価情報の活用による経営改善 ・ 医療情報・医療データの二次利用方法 →②に対応
	安全管理学(15h)	・ 高度医療を行う大学病院の医療安全 →②に対応
	特別研究 (52.5h)	・ ケーススタディ研究・演習 ・ 大学病院長主導による経営改善実習 →③に対応
選択科目 (1科目以上選択)	臨床医学概論 (22.5h)	・ 医師以外を対象に医学全般を俯瞰する能力の育成 →③に対応
	臨床統計学 (22.5h)	・ 臨床研究の仕組みを理解 ・ 大学病院経営に必要な臨床統計の習得 →②に対応
	医学教育学 (22.5h)	・ 人材育成のための能動的な教育手法の実践 ・ 専門職連携の概念と教育手法の習得 →③に対応
	看護管理学 (22.5h)	・ 病院経営における看護管理上の課題理解 ・ 医療における質保証と継続的な質改善 →②に対応
	看護政策学 (22.5h)	・ 看護政策の動向と課題を理解する →①③に対応
	調査方法論 (22.5h)	・ 調査データの作成、標本抽出、母集団推定の方法 ・ データを用いた企画・設計について →②に対応
	公会計研究 (22.5h)	・ 行政や病院、大学等の会計問題に関する研究 ・ 経営・データ分析を応用した組織分析 →②に対応

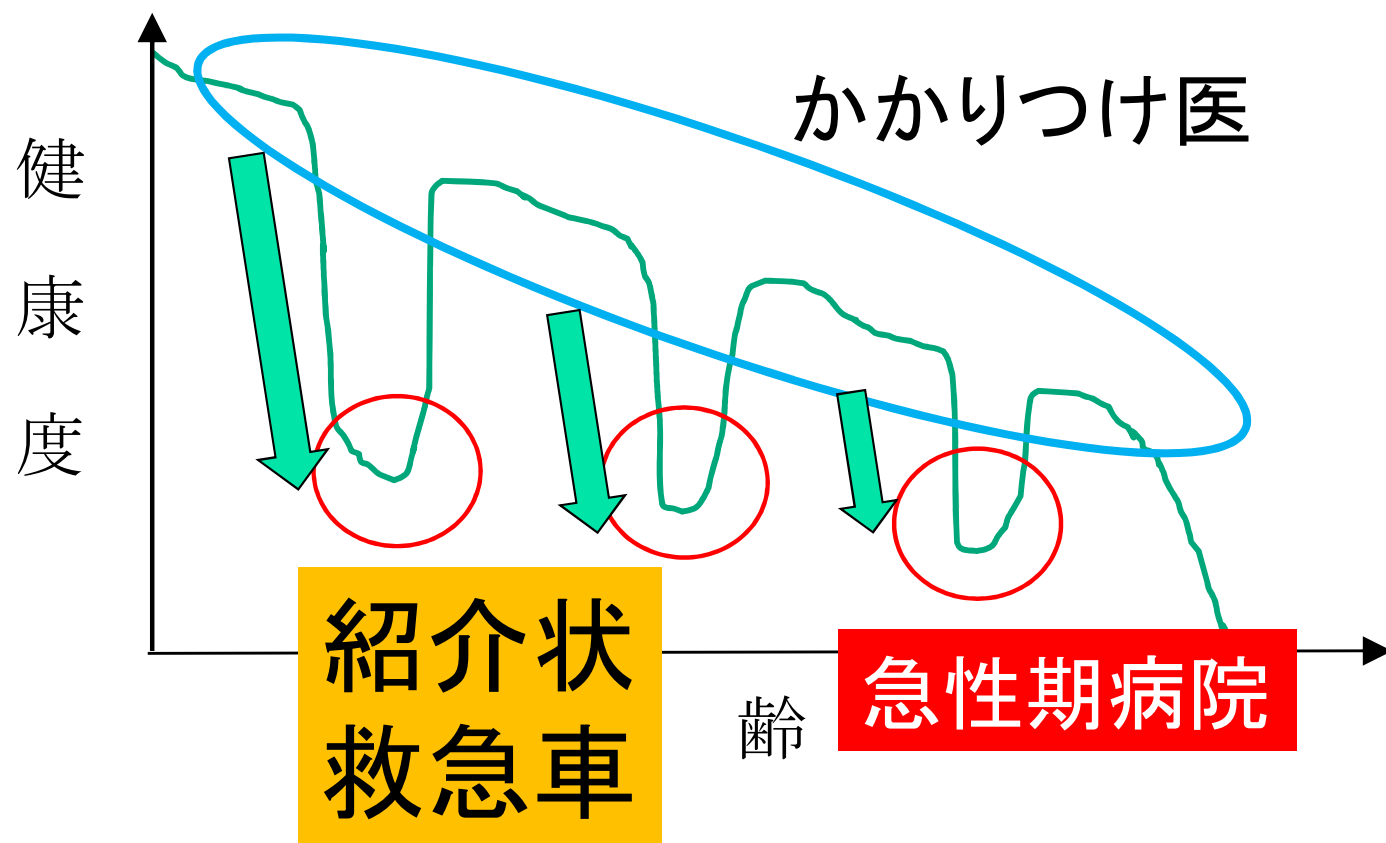


本年度の横浜市大附属市民総合医療センターの最重要課題

- 頼まれた救急患者(救急車、紹介状、受診歴)は必ず診る



高齢者は暮らし、ときどき病院



私たちの顧客は誰か？

- かかりつけ医
- 連携病院
- 救急隊



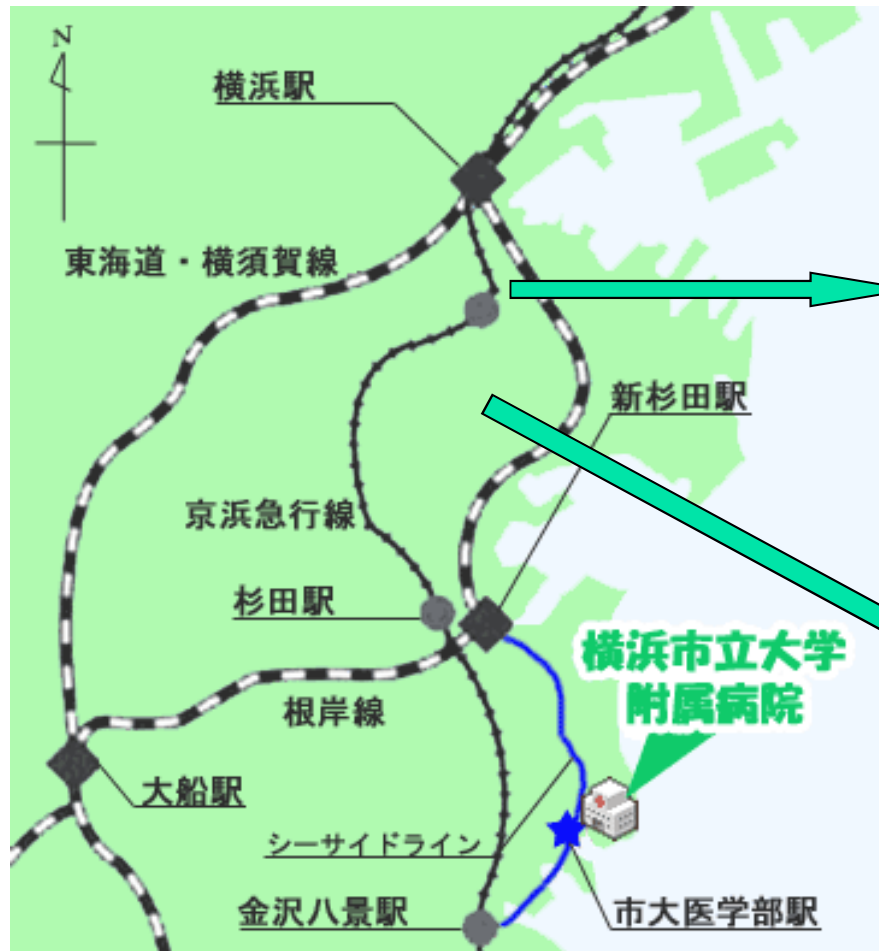
→「大学病院で診るべき患者ではない」と言って門前払いをすれば、本当に我々の診るべき患者も送ってもらえなくなる

来年度の課題

—近隣病院との連携



横浜市大附属
市民総合医療
センター



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

なぜ大学は附属病院を持っているのか？

- 何故ビジネススクールは附属会社を持っていないのか？



大学病院は医学・医療を教える場

■ 地域包括ケアシステムをきちっと学生に見せられる病院

